広　告

キヤノンの挑戦 vol.1

# 共生社会の実現を目指し キヤノンは「変わり続ける」

キヤノンは刻々と変わる社会のニーズに応えるために、しなやかにたくましく変化し続けてきた。高度経済成長期には創業事業のカメラに事務機を加え、普通紙複写機やインクジェットプリンターへと多角化。デジタル化の進展を捉えて大型M&A（合併・買収）を大胆に進め、事業ポートフォリオを「プリンティング」「イメージング」「メディカル」「インダストリアル」の四本柱に大転換した。御手洗冨士夫会長兼社長 CEOは「変化は進化、変身は前進」と表現し、「時代の先端分野に携わり続け、技術で社会課題の解決に貢献したい」と力強く語った。

キヤノン株式会社　代表取締役会長兼社長 CEO
**御手洗 冨士夫**

## 「技術」にこだわり「理念」貫く

### 多角化のDNA

――キヤノンの事業ポートフォリオが大きく変化しています。

「カメラ事業が成熟した1960年代に『多角化宣言』をして事務機分野に進出して以降、キヤノンは常に変わり続けてきました。創業から大切に育ててきた技術や人材を生かしながら、イノベーションを起こし、大きく変わる社会のニーズに合わせて事業を多角化してきました。今でも『カメラのキヤノン』『複写機のキヤノン』というイメージが強いようですが、現在は、プリンティング、イメージング、メディカル、インダストリアルを柱とした企業です。2000年代からのデジタル化の波に対応するために、キヤノンの技術基盤が生かせる形での大規模なM&Aを断行し、一気にポートフォリオを入れ替えました。『変化は進化、変身は前進』です」

### 共創が育む革新の種

――キヤノンの変化、進化を支える根源は何ですか。

「それは技術です。キヤノンには商品に組み込まれている技術として、イメージング技術を拡張させた『撮る』『価値化する』『描く』という3つの基盤要素技術があります。そして、商品を生み出す技術として『開発・設計』『ものづくり』『材料開発』『デジタルビジネス』という4つのプラットフォームを持っています。これらを複合的に組み合わせることができる開発環境こそが、キヤノンの大きな強みであり、進化を支える原動力です。さらにM&Aにより新たな成長力が加わり、これまでにないイノベーションの種が生まれ始めています」

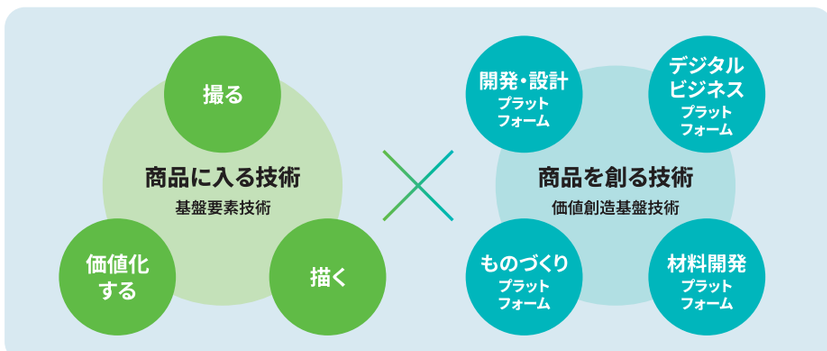
「メディカルではキヤノンメディカルシステムズの画像診断機器などの医療機器と、キヤノンのAIを含む画像処理技術や生産技術を組み合わせることで、診断画像の高精細化と質の高い診断への貢献が一気に進んでいます。イメージングでは実空間を3Dデータ化し、映像として再現することで、あたかもその場に入ったような感覚を味わえる『ボリュメトリックビデオ技術』をはじめ、仮想現実（VR）、複合現実（MR）など、3Dイメージング領域で事業を拡大していきます。さらに、インダストリアルではハンコを押すようにウエハー上に回路を描き、先端半導体チップを効率的に製造できる革新的な『ナノインプリントリソグラフィ技術』で、半導体産業の進化に貢献しています。また外部の研究機関との『共創』で材料や宇宙、バイオをはじめとする新しい領域の開拓にも力を入れています。『自家iPS細胞』製造に寄与する自動化装置など、ここ数年で具体的な成果につながるよう注力している案件もあります」

――10月開催の「Canon EXPO 2023」は生まれ変わったキヤノンのお披露目の場ですね。

「展示内容を見ていただければ、キヤノンがどれだけ変わってきたか一目瞭然でしょう。新たに生まれたイノベーションの種が、社会にどのような価値を創出しようとしているか、わかりやすくご紹介していきます。さらには、会場での多くの方々との出会いを通じ、今までになかったような変化のきっかけも生まれると信じています」

――持続可能な社会の実現への貢献も企業の大切な使命です。

「1988年に掲げた企業理念『共生』には、すべての人々が文化や習慣などあらゆる違いを超えて幸せに暮らす社会を構築し、かけがえのない地球環境を子供たちに引き継ぐ、という思いが込められています。その理念に沿って様々な取り組みを積み重ねてきました。環境保全では1990年に他社に先駆けて使用済みトナーカートリッジの回収・リサイクルを始めました。現在、社内では『Minimum Energy 360（ミニマム・エナジー・スリーシックスティ）』を合言葉に、360度全方位で事業活動のエネルギー最小化に取り組んでいます。そして、キヤノンが関わるバリューチェーンのあらゆるところで$CO_2$排出削減に努め、2050年に$CO_2$排出量ネットゼロを目指します」



### さらなる「変化」へ始動

――理念は不変でも、事業は変わり続ける。変化にはリスクも伴います。

「全てがうまく進むわけではありません。常にリスクを最小限に抑えながら最大の結果を目指してきました。経営者として挑戦の連続です。私は10年に一度、社会は大きく変わると考えています。その要因の多くはイノベーションです。ただ10年先まで技術の進歩を読むのは難しい。そこで5年間の中長期経営計画を立て、社会の変化に目を凝らしながら事業のスクラップ・アンド・ビルドを繰り返してきました。経営陣だけでなく社員一人ひとりも、そのことをよく理解して努力をしてくれています。コロナ禍では製品供給が滞りかねない事態に陥りましたが、全社員が一丸となって乗り切ってくれました。コロナ禍を超えて、さらに強いキヤノンに生まれ変わることができたのです」

――まだまだキヤノンは変わるのですか。

「社会の中で生きる企業にとって、社会とともに変わり続けるのが必然です。私たちの暮らしや社会をもっと豊かに快適にするために、キヤノンの技術が果たす役割はますます大きくなると思います。時代のニーズに応え、社会課題解決に技術で貢献していくために、キヤノンは今後も時代の先端分野に常に携わっている企業であり続けます」

Future Focused. Always.
未来の可能性を、ひろげ続けよう

Canon EXPO 2023

「Canon EXPO 2023」は、キヤノングループの目指す方向性を示す展示会です。時代の要請やビジネス環境の変化に適応し、事業ポートフォリオを大きく転換しつつあるキヤノンの姿や、最新の製品やサービス、それを支える技術、社会へ貢献するソリューションを展示します。さらに、それらの技術を活用した新領域での取り組みも紹介します。ぜひこの展示会でパワーアップしたキヤノンを体感してください。

【Canon EXPO 2023 開催概要】

日時：2023年10月19日（木）・20日（金）
10時～18時（最終入場17時）

場所：パシフィコ横浜ノース
神奈川県横浜市西区
みなとみらい1丁目1番2号

※来場には、事前申し込み（無料）が必要です。

来場登録はこちらから

Canon
make it possible with canon

キヤノン株式会社　〒146-8501 東京都大田区下丸子3-30-2　global.canon